

## 記者会見資料

総合政策部 財政改革課  
(担当 吉澤 22-9331)

### 令和2年度当初予算(案)の概要について ～新庁舎建設(竣工)、令和元年台風第19号被害からの復旧・復興対策、 人口減少対策と持続可能な社会づくり推進のための過去最大積極予算～

令和2年度当初予算は、「ひと・行政を創る」、「まちを創る」、「くらしを創る」の3つのまちづくりの基本理念を実現するため、人口減少対策と持続可能な社会づくりに積極的に取り組むとともに、令和元年台風第19号被害からの復旧・復興対策の推進、令和2年度末竣工予定の「新庁舎建設」の着実な推進、及び計画期間の最終年度となる「第7次小山市総合計画」と令和2年度を初年度とする「第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた諸施策について、国の「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」と連携を図りながら、確実に実行するための予算編成といたしました。主な取り組みとして、

第1に、圏央道の開通により立地利便性が一段と向上した栃木県第2の「南都」として、新4号国道沿線の新規工業団地の開発による企業誘致及び若者の雇用の確保、駅周辺のコンパクトシティ・市街地整備・再開発の実施による移住定住人口の増加など、「人と企業を呼び込む施策」の更なる推進と、夢・未来あふれる“新しい時代の行政創り”の中核拠点である「新庁舎建設」の竣工、

第2に、5年目となる国営かんがい排水事業「栃木南部地区」の事業促進、令和元年度に一級河川の指定を受けた豊穂川及び杣井木川等の「排水強化対策」、同排水強化対策完成までの「緊急排水強化対策」の推進による「安全安心な小山市」の創造、

第3に、出会いから結婚・妊娠・出産・育児までの包括的な子育て支援、産後ケアの実施、回復期リハビリテーション病院等整備支援、幼児教育・保育の無償化、老人クラブ育成、地域包括ケアシステム構築、豊田中学区新設小学校着工、英語教育のまち推進など、保健・医療・福祉・教育対策の充実による、平成25年度の「高齢化対応度日本一」に続く「子育て支援日本一」、「健康長寿100歳都市」の実現

第4に、栃木県繊維物技術支援センターがオープンし、ユネスコ無形文化遺産登録10周年を迎える「本場結城紬」、小山市の「宝」であるコウノトリの長期滞在が実現し、拠点施設が整備された「渡良瀬遊水地」、「小山評定」、「スポーツのまちおやま」などの地域資源に磨きをかけ、農泊民泊や民間活力の導入によるスポーツ資源を活用した「アグリ・スポーツツーリズム、インバウンド」による観光地域化の推進による交流人口・関係人口の拡大

第5に、5年目を迎える下野市・野木町・結城市との「小山地区定住自立圏構想」、渡良瀬遊水地を共有する4市2町による「関東どまんなかサミット」、「栃木市との連携強化」等の推進による「50万中核都市」の実現を目指すこととします。

これらの実現のため、企業誘致・移住定住の促進や市税収納率の向上、庁舎の集約により不用となる市有地の売却、ふるさと納税の強化等、自主財源の確保を図るとともに、全職員が一丸となって、企業的経営感覚に立ち、常にコスト意識を持った経費全般にわたる節減合理化、

AI や RPA 等の ICT を活用した効率的な行政運営による時間外手当の削減など、「入るを量りて出ずるを制する」歳入に見合った歳出構造改革に一層取り組むなど、限られた財源を有効かつ効果的に活用してまいります。

特に、「新庁舎建設」については、国の「市町村役場機能緊急保全事業」を活用し、約 65 億 9 千万円を計上したほか、思川・豊穂川・杣井木川等の排水強化対策として約 2 億 8 千万円、豊田中学区新設小学校建設に約 7 億 3 千万円を計上するなど、「豊かで活力があり、暮らしやすい小山」の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、令和 2 年度の予算総額は 673 億 5 千万円と 前年比 29 億 5 千万円、4.6%増の過去最大予算となりました。

当初予算における主な事業は、

## **1. 市民生活の安全・安心・健康づくり・医療・保健・スポーツ・教育・福祉対策の推進**

10,956,932 千円

### **① 市民の生命・財産を守り、地域の安全・安心な暮らしのために** 7,339,316 千円

「新庁舎建設(竣工)」、「㊦新庁舎災害対策本部システム整備」、「国営かんがい排水事業 栃木南部地区推進」、「排水強化対策〔排水対策補助金(田んぼダム設置)、豊穂川整備用地取得・補償、小山栃木・立木排水路測量、簡易水位計設置(杣井木泉橋、西仁連川)〕」、「防災体制強化〔避難所環境改善(屋内運動場空調機設置)、防災ラジオ助成、備蓄物資整備〕」、「地域防災力強化推進(自主防災組織設立、防災士資格取得)」、「コミュニティ FM(おーラじ)運営」、「消防力強化(消防団車両更新・高規格救急車更新)」、「小山市水防訓練」、「㊦高齢者安全運転サポート補助」

### **② 健康づくり・医療・保健・スポーツ・教育の充実のために** 739,435 千円

「健康長寿はとむぎ 100 歳[地方創生]」、「風しん抗体検査」、「回復期リハビリテーション病院等整備費補助」、「東京オリンピック・パラリンピック推進」、「栃木国体推進」、「市立体育館建設(PFI)」、「小・中・義務教育学校 ICT 環境整備(パソコン・タブレット)」、「英語教育のまち推進(ALT 大規模校増員)」、「食育推進(㊦小山産コシヒカリ)」、「国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳整備(琵琶塚古墳着工)」、「文化財保存活用地域計画策定」

### **③ 高齢者・障がい者がいきいきと生活できる福祉対策等社会保障の充実のために**

2,878,181 千円

「第 4 期地域福祉計画策定」、「すこやか長寿プラン 2021 策定」、「生き生き好齢者育成支援」、「地域包括ケアシステム推進」、「第 6 期障がい福祉計画策定」、「基幹相談支援センター運営」、「重度心身障がい者医療費扶助」、「障がい者介護給付」、「障がい児通所支援」、「生活困窮者自立支援」

## **2. まち・ひと・しごと創生総合戦略、地方創生の推進** 6,832,287 千円

### **① 産業の振興による新たな雇用の創出のために** 1,452,303 千円

「新規工業団地開発推進(テクノパーク小山南部、㊦第四工業団地第二工区)」、「企業誘致促進」、「工業振興奨励」、「本場結城紬生産振興・普及(ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念、日本遺産登録記念、生産振興、後継者育成、プロモーション)」、「農地耕作条件改善(農道・ほ場整備)」、「県営経営体育成基盤整備(大谷東部、塚崎・東野田)」、「㊦スマート農業推進」、「農福連携推進」、「新規就農者育成」、「第 6 次産業化農業振興(6 次産業化・農林水産物・食品の輸出に関する 5 か年計画策定)」、「担い手・農地総合対策(企業参入推進補助)」、「高収益農業生産拡大」、「菜の花プロジェクト推進」、「日本型直接支払制度」、「イノシシ被害等対策」、「第 3 期商業・観光振興計画策定」、「おやまブランド(企画・普及・全国発信)」、「料理人の聖地創出[地方創生]」

## ②新しい人の流れの創出のために 517,111 千円

「第2期シティプロモーション計画策定」、「ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地観光地化推進(ヨシ灯り、エコ・アグリツーリズム推進、エコミュージアム化、環境にやさしい農業推進、コウノトリ・トキの野生復帰、観光誘客推進、第二調節池湿地保全推進)」、「㊦武道ツーリズムを核とした日本文化魅力発信プロジェクト[地方創生]」、「㊦思川水辺活用(ミズベリング)推進[地方創生]」、「㊦小山御殿広場を中心としたまちの賑わい創出[地方創生]」、「移住・定住促進[空き家等を活用した二地域居住促進[地方創生]、I J U(移住)推進]」、「転入勤労者等住宅取得支援(思川駅北、多世代同居)」、「㊦城山公園フラワーパーク整備(着工)」、「農泊民泊推進」、「ロブレ再生支援」

## ③出会いから結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現のために 3,800,548 千円

「とちぎ結婚支援センター小山運営」、「妊産婦健康診査助成」、「不妊・不育症治療費助成」、「㊦産前・産後サポート」、「産後ケア推進」、「認定こども園施設型給付(㊦せいほう幼稚園、㊦静林幼稚園)」、「認定こども園等一時預かり(㊦せいほう幼稚園、㊦静林幼稚園)」、「保育所等施設整備補助[㊦(仮称)若木保育園、㊦羽川幼稚園]」、「放課後児童健全育成(せいほう学童保育館)」、「㊦ひとり親家庭通学補助」、「キッズランドおやま運営」、「こども医療費助成」、「予防接種費助成(ロタ)」

## ④SDGs(持続可能な開発目標)推進のために 1,062,325 千円

「第8次小山市総合計画策定」、「SDGs持続可能なまちづくり推進」、「第2期小山地区定住自立圏共生ビジョン策定」、「第4次環境基本計画策定」、「ごみ減量化」、「第4次男女共同参画基本計画策定」、「㊦多言語翻訳・読み上げアプリ導入」、「外国人共生社会推進」、「教職員働き方改革(校務支援システム導入)」、「市職員働き方改革(ICT利活用実証試験・導入)」、「㊦会計年度任用職員制度」

## 3. 社会資本整備を中心とした景気・地域経済の再生の推進 2,580,443 千円

### ①産業・都市・教育基盤整備による「人と企業を呼び込む施策」推進のために 2,194,901 千円

「市街地再開発(駅東通り一丁目第一地区、城山町二丁目第一地区等)」、「都市再生整備[小山駅周辺地区・大谷地区(大川幹線・支線着工)・間々田駅周辺地区]」、「3・4・101 城東線道路整備」、「㊦思川駅北口地区整備」、「㊦豊田中学区新設小学校整備(着工)」、「㊦乙女中学区小中一貫校整備(基本構想)」、「学校跡地有効活用調査(豊田南小・北小跡地活用検討)」

### ②地域住民の利便性向上のために 385,542 千円

「大谷地区中心施設整備(実施設計)」、「㊦有料体育施設指定管理制度導入」、「㊦A I を活用した互助輸送構築[地方創生]」、「㊦M a a S 等新技術活用検討」、「コミュニティバス運営(ハーヴェストウォーク線)」、「マイナンバーカード取得促進」

| 性質別                   | 主な経費の比較 |       |        |       | (単位:百万円、%) |       |       |
|-----------------------|---------|-------|--------|-------|------------|-------|-------|
|                       | 令和2年度   |       | 令和元年度  |       | 対前年度比      |       |       |
|                       | 金 額     | 構成比   | 金 額    | 構成比   | 金 額        | 増減率   | 構成比   |
| 義務的経費                 | 29,484  | 43.8% | 28,155 | 43.7% | 1,329      | 4.7   | 0.1   |
| 人件費                   | 9,925   | 14.7% | 8,976  | 13.9% | 949        | 10.6  | 0.8   |
| うち特別職・一般職(会計年度任用職員除く) | 8,948   | 13.3% | 8,976  | 13.9% | △ 28       | △ 0.3 | △ 0.6 |
| 扶助費(社会保障費)            | 13,819  | 20.5% | 13,361 | 20.8% | 458        | 3.4   | △ 0.3 |
| 公債費                   | 5,740   | 8.6%  | 5,818  | 9.0%  | △ 78       | △ 1.3 | △ 0.4 |
| 投資的経費                 | 12,681  | 18.8% | 10,242 | 15.9% | 2,439      | 23.8  | 2.9   |
| うち新庁舎整備               | 6,454   | 9.6%  | 4,986  | 7.7%  | 1,468      | 29.4  | 1.9   |